

チャペルの思い出

安藤 聡（1993大学院英文学専攻博士後期卒）

私は教会マニアです。研究分野の関係で英国によく行くのですが、実地調査や資料収集の合間にあちこちの町や村の教会を訪れるのを趣味にしています。ノルマン様式やイングリッシュ・ゴシック様式など様々な教会建築にも興味がありますが、何よりも内部の独特な雰囲気惹かれます。夏の暑い日でも教会の中は少し涼しく、厚い石の壁で俗世間から隔離されているような気がします。

このような教会特有の空気に最初に気づいたのは学生時代で、それは学院の礼拝堂でのことでした。当時は毎週火曜日が英語礼拝の日だったので、リスニングの勉強も兼ねて毎週出席していたのですが、その短い時間の中で時々、自分が今どこか別な世界にいるような、非現実的な感覚に襲われたのを憶えています。このような空気で礼拝出席者を包み込むことも、教会建築の重要な役割なのかも知れません。卒業後に何度かクリスマス礼拝に参加しましたが、この感覚を毎回味わうことが出来ました。